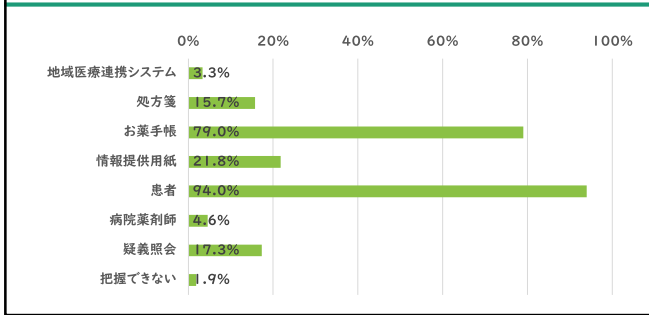
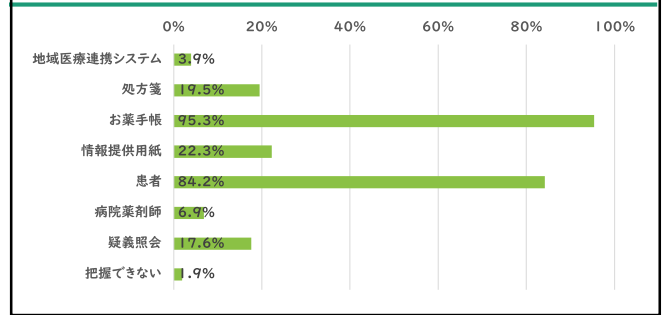


患者のアレルギー・副作用歴



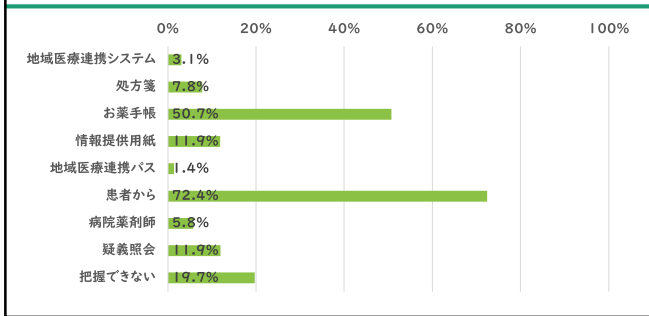
31

患者の投薬歴



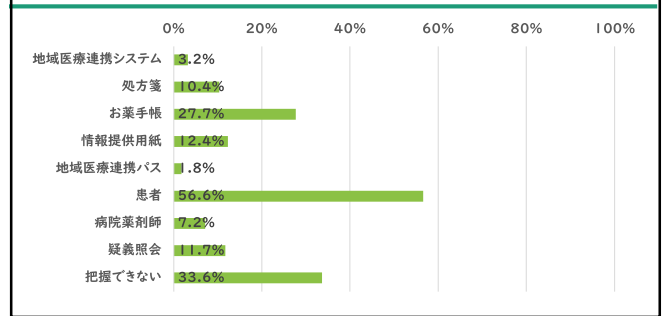
32

患者の注射歴



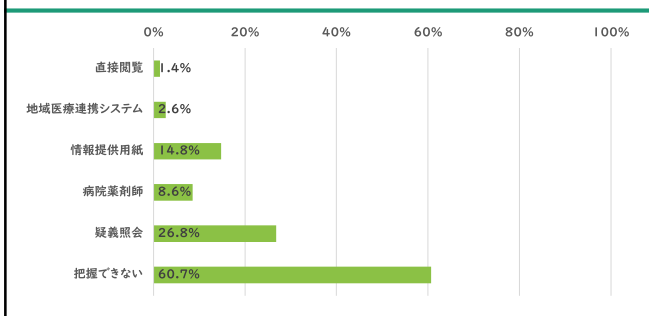
33

治療スケジュール(レジメン含む)



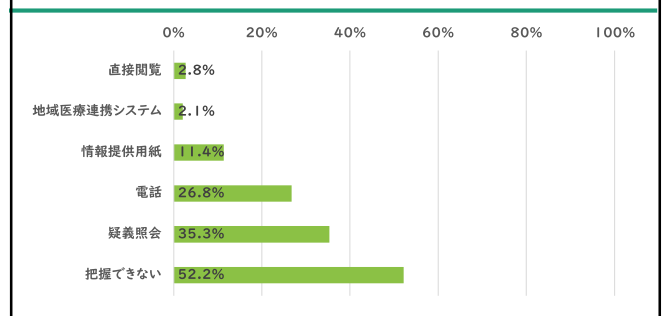
34

病院医師の処方意図・記録・退院サマリ

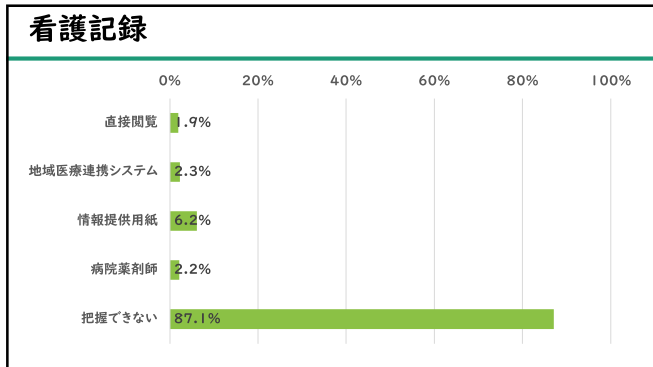


35

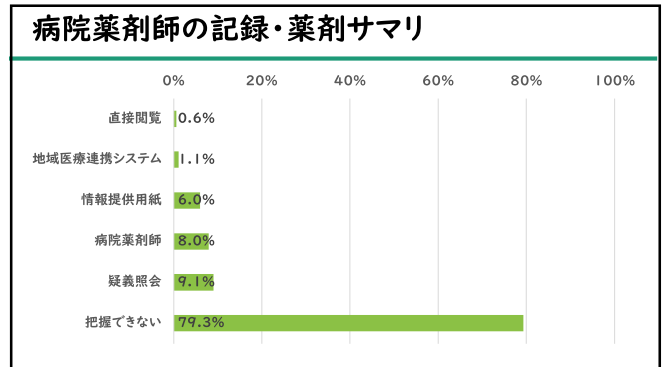
診療所医師の処方意図・記録・サマリ



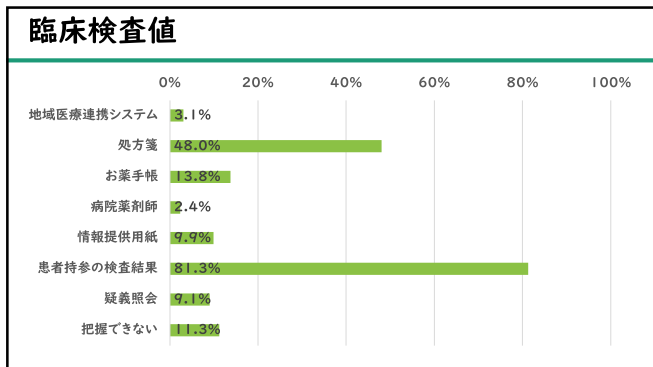
36



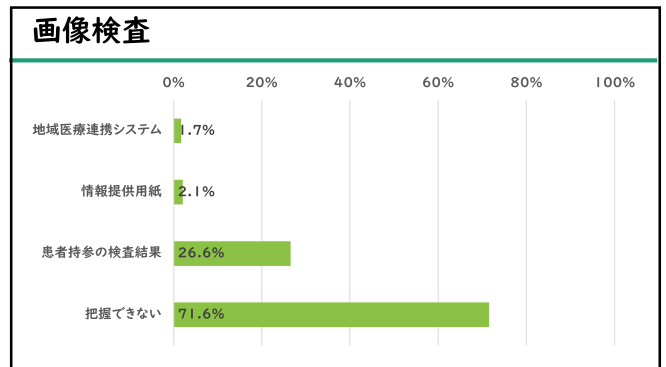
37



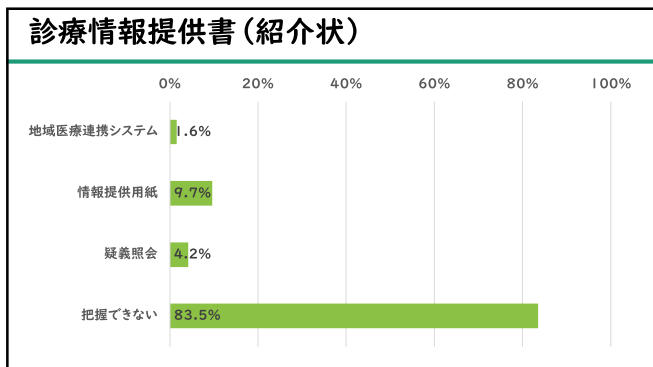
38



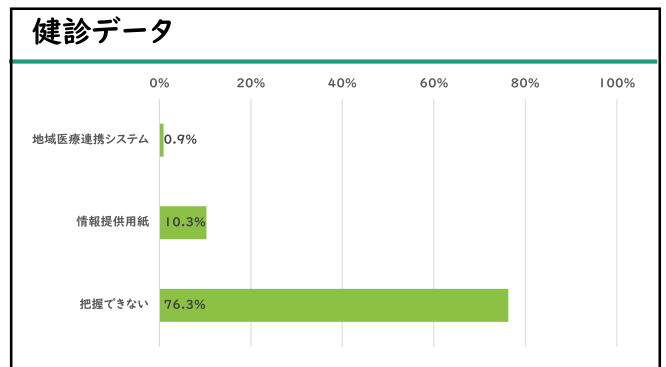
39



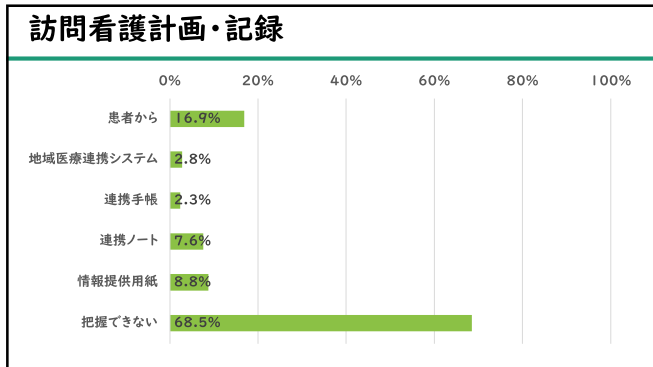
40



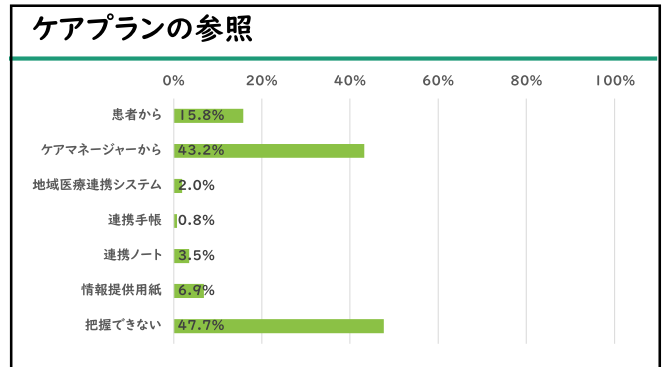
41



42



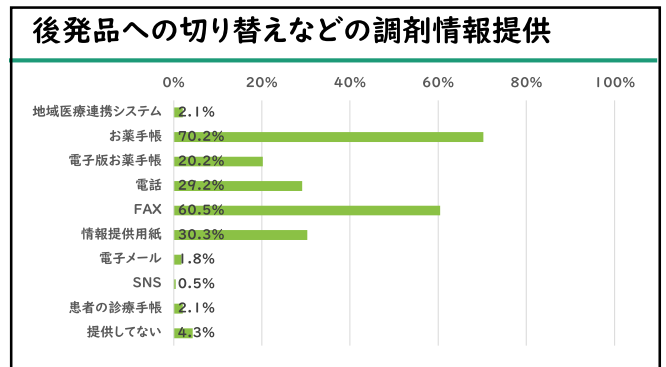
43



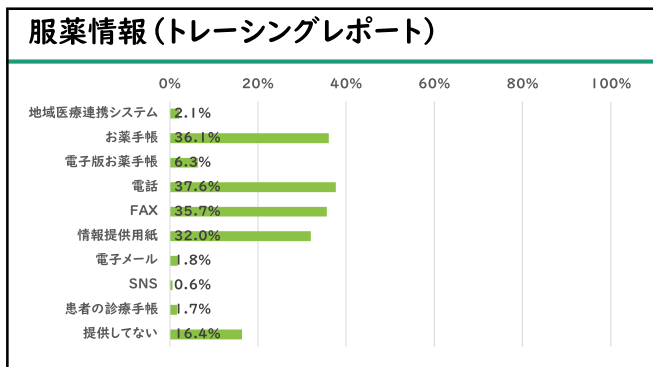
44

情報の提供

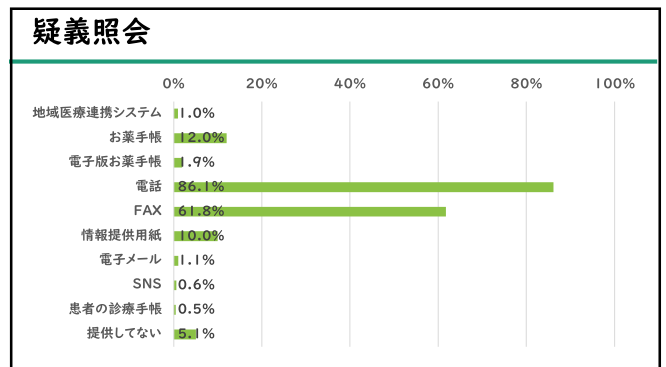
45



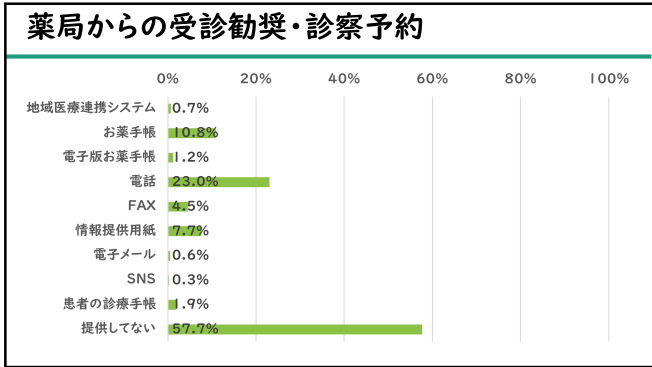
46



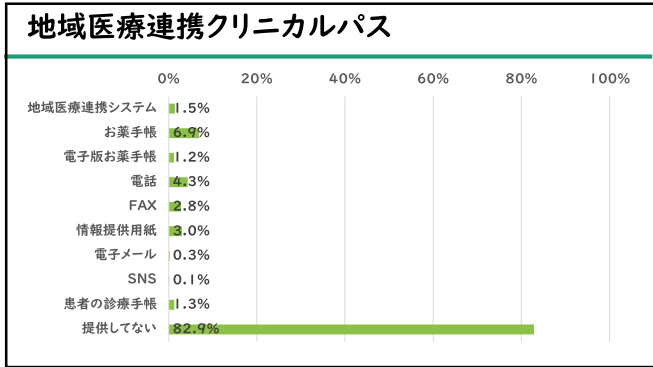
47



48



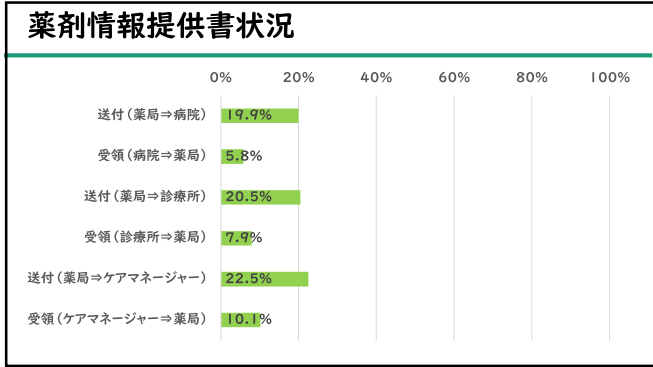
49



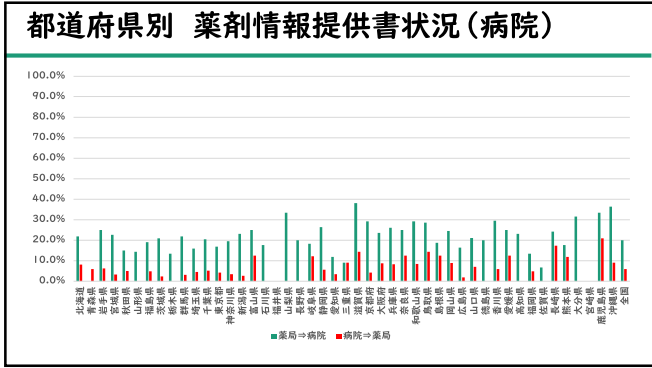
50

連携

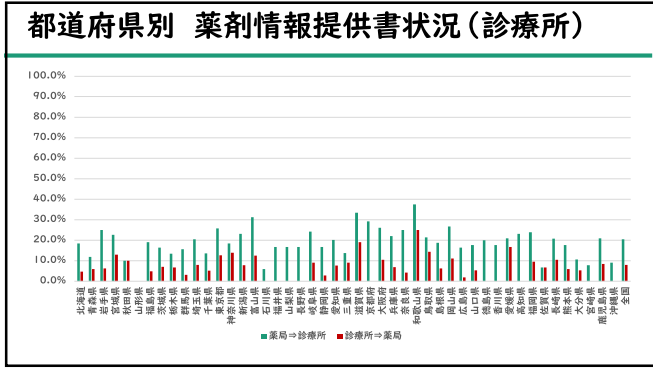
51



52

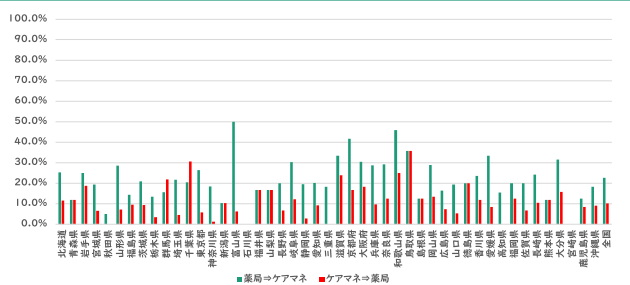


53



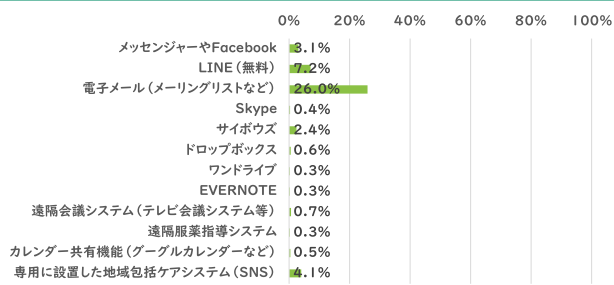
54

都道府県別 薬剤情報提供書状況(ケアマネ)



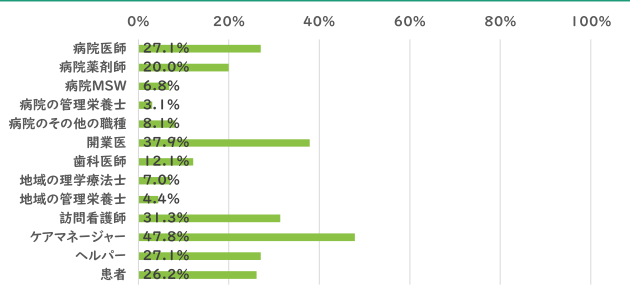
55

地域で医療・介護関係者、患者と連絡ツール



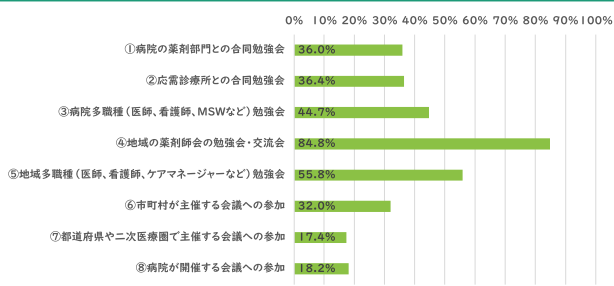
56

連携している地域の職種



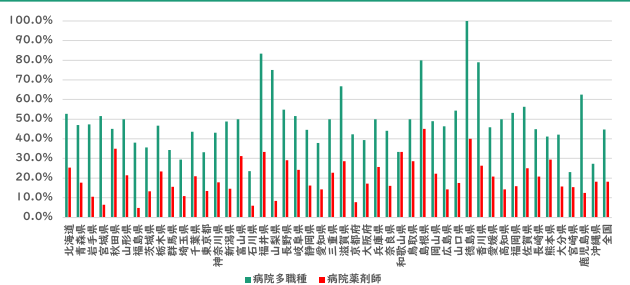
57

連携への取り組み



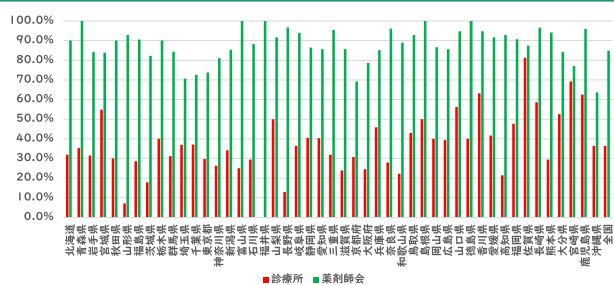
58

勉強会・研修会

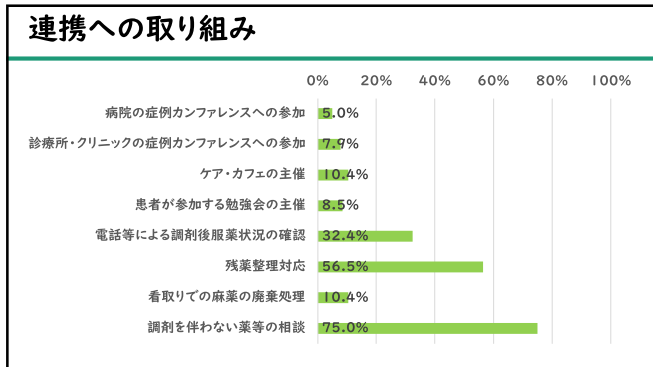


59

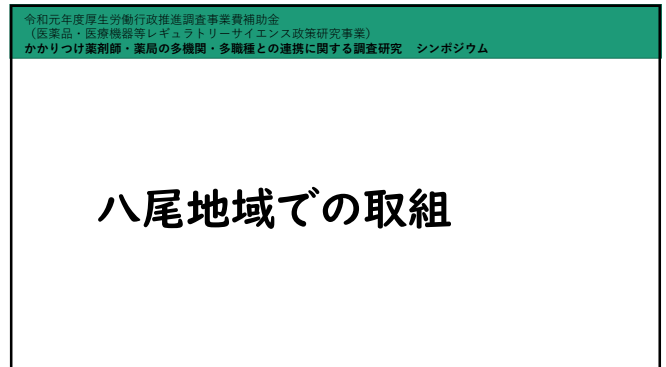
勉強会・研修会



60



61



62

八尾市概要

- 人口: 266,562名 (125,164世帯)
- 面積: 41.72km²
- 医療施設数: 359カ所
 病院 12 一般診療所 210 歯科診療所 137 保険薬局 91
- 病床数 2,580床 (有床診療所含む)
 医師 504人 歯科医師 190人 薬剤師 444人 (H29)

63



64

八尾市立病院概要

- 病床数 380床 (ICU 6床・NICU 6床含む)
- 診療科数 21診療科
- 主な統計 (平成28年度実績)
- 職員数 (2019年6月) 670人
 医師 121人 看護師 375人 医療技術員(薬剤師除く) 62人
 薬剤師 27人 (薬剤部 25人、臨床研究センター 1人、事務局 1人)
- 主な特徴
 地域医療支援病院 (H24.11) 地域がん診療連携拠点病院 (H27.4)
 病院機能評価3rdVer1.0 (H26.11) 運営型PFI事業導入病院
 平成29年度自治体立優良病院表彰 平成29年度全国公立病院連盟会員病院表彰
 平成30年度自治体立優良病院表彰 (総務大臣表彰)

| | 一日平均外来患者数 | 825.4名 | 一日平均入院患者数 | 348.7名 |
|----------------------|-----------|---------|-------------|---------------|
| ● 診療科数 21診療科 | 平均在院日数 | 10.0日 | 病床利用率 (稼働率) | 83.4% (91.8%) |
| ● 主な統計 (平成28年度実績) | 外来診療単価 | 18,953円 | 入院診療単価 | 67,450円 |
| ● 職員数 (2019年6月) 670人 | 院外処方せん発行率 | 89.2% | | |

65

| 年月 | できごと |
|--------------|--|
| 平成6年(1994年) | 医薬品情報管理室設置 |
| 平成9年(1997年) | お薬相談窓口設置 |
| 平成10年(1998年) | 前回処方せん出力装置設置 入院患者(内科、整形外科、眼科)に対する服薬指導実施 |
| 平成11年(1999年) | 全科 前回処方せん出力装置設置 入院患者に対する薬剤管理指導業務の拡張(耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科) |
| 平成12年(2000年) | 大阪府「医薬品安全性情報交換システム」導入 院外処方せんFAXコーナー設置 |
| 平成13年(2001年) | 院外処方推進協議会 設置 |
| 平成14年(2002年) | 院外処方全面発行 全病棟で薬剤管理指導業務実施 |
| 平成16年(2004年) | 病院移転 電子カルテ導入/調剤⇒在庫連動/麻薬管理システ/注射薬アンブルピッカー |

66

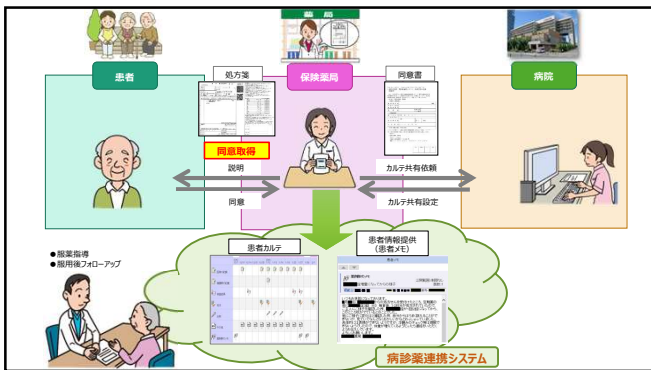
| 年月 | てきごと |
|--------------|---|
| 平成21年(2009年) | 疑義照会簡素化の申し合わせ作成 |
| 平成21年(2009年) | 中河内薬業連携モデル事業(退院時共同服薬指導) |
| 平成24年(2012年) | 病院・診療所・薬局連携ネットワークシステム(病診薬連携システム)の運用開始 病棟常駐業務開始 |
| 平成26年(2014年) | 八尾薬業連携協議会 設置 薬物治療管理プログラム(PBPM)の運用開始 |
| 平成26年(2014年) | 緩和ケア病室連携開始(自記式手帳を用いたオピオイド指導) |
| 平成26年(2014年) | 大阪大学「地域チーム医療を担う薬剤師養成プログラム」八尾ユニット参加 |
| 平成28年(2016年) | 糖尿病患者への重症化予防に向けた事業開始 |
| 平成29年(2017年) | 服薬情報提供書(トレーニングレポート)開始 |
| 平成30年(2018年) | 院外処方箋における疑義照会簡素化プログラム[八尾薬業連携版]開始 在宅医療・介護連携事業 |
| 平成30年(2018年) | 院外処方箋への検査値印字/入退院支援・地域連携バス稼働 |
| 令和元年(2019年) | 入退院時情報共有モデル事業/院内フォーミュラ作成/在宅マップ作製 |

67

病診薬連携システム

- 市立病院と市内の医療機関をセキュリティの高いネットワークで接続し、患者さんの同意のもと、市立病院で受けた検査や画像などの診療情報を市内の医療機関で閲覧することを可能にするシステム。
- 病院と地域の医療機関を、国が定めるガイドラインに沿った情報通信技術を用いて情報を共有している。

68



69

カルテ共有範囲

| | 医師・歯科医師 | 薬剤師 | 看護師・保健師 | ケアマネ |
|------|---|---|--|----------------|
| 共有項目 | 診療録 病名 処方 注射 その他のオーダ 検査結果 画像・レポート 患者プロフィール 看護プロフィール 看護記録 退院サマリ 看護サマリ 予約情報・その他 | 診療録 病名 処方 注射 その他のオーダ 検査結果 患者プロフィール 退院サマリ 予約情報・その他 | 処方 患者プロフィール 看護プロフィール 看護記録 退院サマリ 看護サマリ 予約情報・その他 | 処方 患者プロフィール |

70

71

カルテコア

GXR-004627
院外処方箋 検査値の印字対応
(要望案件番号: GXRQ-000428, 子案件: GXRQ-000443)

72

トレーシングレポートシステム (保険薬局⇒病院)

保険薬局で「新規メモ作成」

カルテ指示板にタイトルが表示される。

ダブルクリックすると内容が確認できる。

73

厚生労働省の様式「服薬情報等提供料に係る情報提供書」をもとに、すでに服薬情報提供の運用を開始していた京都大学医学部附属病院や三重大学医学部附属病院なども参考に、共通の様式を作成した。

74

プロトコルに基づく処方変更・調剤後の連絡

記入日: 年 月 日

八尾市立病院 八尾徳州会総合病院 安中診療所
 医真会八尾総合病院 医真会総合クリニック

服薬情報提供書 (トレーシングレポート)【八尾薬局連携版】

処方院: 科 先生 調剤下 保険薬局 名称 (所在地・電話番号・FAX番号)

患者番号: 患者氏名: 担当薬剤師名:

この情報を伝えることに関して同意を 得た。 得ていない

患者は主治医への転院を希望していますが、後継し書が受け付けられません。

処方箋に基づき調剤を行い、薬剤を交付いたしました。服薬情報について下記のとおりで報告いたします。

処方箋交付日: 年 月 日 前 日

処方箋調整に関する情報提供 (下欄が理由/内容/理由を必ず記入してください)

処方箋に処方された薬剤について

処方箋に処方された薬剤について

処方箋に処方された薬剤について

処方箋に処方された薬剤について

処方箋に処方された薬剤について

薬剤師からの情報提供 (服薬事項、処方調剤した内容 (処方箋など、処方箋交付日))

75

医療機関と薬局の連携による医薬品の適正使用を推進するため、残業に係る疑義照会の取扱いを明確にする。

あらかじめ医療機関と薬局で合意した方法により、残業調整の疑義照会に係る取扱いを明確にする。

説明会への参加
 合意書の締結

76

薬局の連携体制整備のための検討モデル基本事業

入院時 情報共有シート 医療機関

相互研修

退院時 情報共有シート

薬局薬剤師

• 医療機関における入院時の薬剤確認の負担軽減を図るに代えて、退院後も切れ目なく効率的に薬用機能を発揮し届くことで、地域医療における患者の服薬管理の安心安全に繋げる。
 • 業務の効率化を図り、患者とのコミュニケーションに時間を多く割当てることが出来る。

77

病院から薬局へ提供する情報 (入院前)

- 患者ID
- 患者氏名
- 生年月日
- 入院目的: 例: 前立腺癌の疑い、前立腺生検術
- 入院予定日
- 手術予定日
- 推定入院期間
- 患者への指導内容 (例)
 - ⇒ 休薬指示あり。一包化より抜いてください。
 - ⇒ 今回骨椎麻酔なので麻酔科より休薬の必要はないと確認済み。

78